

## 陰をつくる光、光を示す陰 — 第2回 —

講師：大須賀 癸蔵先生

日時：2007年11月9日（金）18:00～20:00

会場：茨城県産業会館 中会議室 〒310-0801 水戸市桜川 2-2-35

第2回は、人の心を理解するということをテーマに、脳自体には相手の気持ちや心を直接理解する構造・機能が無く、相手の気持ちが的確に想像できたとき人の心を理解することができるということ、つまり相手の心は伝わってくるものではなく、聞き手が生み出すものであるということが分かりました。印度哲学では、慈・悲・喜・捨というプロセスを踏むことにより、心を通じ合うことができるということを知りました。そのためには、四天王（持国・増長・広目・多聞）という枠組みもまた重要であるということも学びました。相手の心像とこちらの心像が一致したとき、本当の理解が得られるものだと思います。

第3回は、これまで観念的な話が多かった印象があり、少し具体的な話題を取り上げてみたいと思っております。今回は「死を宣告された人とどう向き合うか」ということをテーマに、死の受容、告知（特に末期癌）、サポートなどの問題を事例を交えて学んでみたいと考えています。死の受容はできるものなのか、できるとしたらどのようなプロセスをたどるものか（華嚴思想の知恵）、告知とはどのようにあるべきか、また、その後のサポートのあり方など、現場の実例などを交え深めていきたいと思っております。是非今回もご参加ください

申込方法：当日の準備の都合がございますので、お名前、連絡先、所属機関をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。

申込先：いばらき診療所こづる  
〒311-3107 東茨城郡茨城町小鶴 127-1  
電話：029-291-0055 FAX：029-291-1456  
E-mail：ibckozuru@ibc.or.jp

参加費用：無料

問合せ先：いばらき診療所こづる 高野



FAXでのお申込の場合、この用紙をそのままお使いください。

お名前：

様

ご連絡先：

所属機関：